

東京工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	TOEIC English I	
科目基礎情報							
科目番号	0116		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	情報工学科		対象学年		4		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	FIIRST TIME TRAINER FOR THE TOEIC TEST						
担当教員	長橋 雅俊						
到達目標							
1. TOEIC テストで使用される英語素材を用いて、実社会で英語を運用する上で必要な知識やスキルの基礎を身に着けることをめざす。具体的には、実生活と関連のある場面設定を通して、英語の語彙、文法、発音、文脈把握力などを幅広く学習することで、生涯にわたって活かせるような英語コミュニケーション能力の基盤をつくることをめざす。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	授業内の活動を、全て英語で行い、活動を遂行している。		授業内の活動を、全て英語で行い、活動をほぼ終わらせている。		授業内の活動を、全て英語で行い、活動を7割以上終わらせている。		授業内の活動を、全て英語で行い、半分程度しか終わっていない。活動を遂行するのに日本語を使用している。
評価項目2	小テストで85%以上得点している		小テストで75%以上得点している。		小テストで60%以上得点している。		小テストの得点が60%に満たない。
評価項目3	定期テスト、小テスト・課題、授業内活動の合計点が80点以上である。		定期テスト、小テスト・課題、授業内活動の合計点が70点以上である。		定期テスト、小テスト・課題、授業内活動の合計点が60点以上である。		定期テスト、小テスト・課題、授業内活動の合計点が60点に満たない
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	TOEICに頻出のテーマの学習を通して、英語の基礎力を確かなものにする。同時に、TOEIC Listening & Reading の回答のポイントを学び、形式に慣れる。						
授業の進め方・方法	リスニング分野とリーディング分野の両方をバランスよく学習する。一年間でテキストは全て消化する。スピーキング・ライティング含め、多岐にわたる英語の素材を投入することで、TOEICのスコアアップを実現するのみならず、全般的な英語力のレベルアップを図る。必ず辞書とノート（或いはルーズリーフ）を持参すること。携帯等電子デバイスの使用は認めない。						
注意点	学期成績は中間試験と期末試験を60%，および授業内で行う各種の確認テストや課題提出を26%、授業での活動に対する取り組みを14%に配分して算出する。12月にはTOEIC IPを全員受験する（本年度中それまでにOfficial TOEICを受験し、スコアを提出したものを除く）。本科目の成績は定期試験の成績のみならず、予習・復習の自学自習の実施状況も考慮して判断される。したがって自学自習の習慣を身に着けることが必要である。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Introduction 模擬TOEIC		コースの学習目標・学習内容を理解する		
		2週	Unite 1: Shopping		Shoppingにまつわる表現を学び、使用する。リスニング素材の内容を自分で説明できる。		
		3週	Unite 1: Shopping		Shoppingにまつわる表現を学び、使用する。リーディング素材の内容を自分で説明できる。		
		4週	Unite 2: Daily Life		Daily Lifeにまつわる表現を学び、使用する。リスニング素材の内容を自分で説明できる。		
		5週	Unite 2: Daily Life		Daily Lifeにまつわる表現を学び、使用する。リーディング素材の内容を自分で説明できる。		
		6週	Unite 3: Transportation		Transportationにまつわる表現を学び、使用する。リスニング素材の内容を自分で説明できる。		
		7週	Unite 3: Transportation ここまで中間試験範囲		Transportationにまつわる表現を学び、使用する。リーディング素材の内容を自分で説明できる。		
		8週	Unite 4: Jobs		Jobsにまつわる表現を学び、使用する。リスニング素材の内容を自分で説明できる。		
	2ndQ	9週	中間試験		これまでの学習成果を発揮する。		
		10週	Unite 4: Jobs		Jobsにまつわる表現を学び、使用する。リーディング素材の内容を自分で説明できる。		
		11週	Unite 5: Meals		Mealsにまつわる表現を学び、使用する。リスニング素材の内容を自分で説明できる。		
		12週	Unite 5: Meals		Mealsにまつわる表現を学び、使用する。リーディング素材の内容を自分で説明できる。		
		13週	Unite 6: Communication		Communicationにまつわる表現を学び、使用する。リスニング素材の内容を自分で説明できる。		
		14週	Unite 6: Communication		Communicationにまつわる表現を学び、使用する。リーディング素材の内容を自分で説明できる。		
		15週	復習・模擬TOEIC		これまでの学習を総動員して活動に取り組んでいる。		
		16週	期末試験		これまでの学習成果を発揮する。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	2	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	

評価割合				
	試験	小テスト・課題	授業中の活動	合計
総合評価割合	60	20	20	100
基礎的能力	60	20	20	100
専門的能力	0	0	0	0